

新水質環境基準の素案について 環境省



環境省は、水質環境基準の新たな生活環境項目として、水域の下層の溶存酸素量(DO)、透明度及び大腸菌数(大腸菌群数からの変更)の追加を検討し、各項目に対する素案をまとめ、2013年度内にまとめる方針です。

下層DOと透明度については、水生生物を保全する観点から、また大腸菌数については、レベルの高い水環境を目指す観点から、現行の大腸菌群数に替わる項目として設定する必要が指摘され、調査検討が進められてきました。

なお、下層DOと透明度については、2015年度を開始とする第8次水質総量規制の指標に採用するために、2013年度までに環境基準を設定するよう、環境省では動いてきましたが、基準の設定自体は2014年度以降にずれ込む見通しとなっています。

基準値については、下層DO及び透明度に対しては、魚類に対する低溶存酸素濃度の急性影響試験を実施し、既存のデータ、知見との比較を踏まえ、環境基準値としての妥当性を評価していく予定です。大腸菌数については、環境省が随時提供する水質調査データおよび自治体での調査で得られた水質データを活用し、これまでの検討結果も踏まえて基準値の素案を利用目的毎にまとめていく方向です。

当社では環境水の他にも排水、下水、飲料水等の様々な種類の水質分析についての長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2013年8月21日付 環境新聞

生活環境箇所 清水圭介

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

“放射能測定”においても ISO/IEC 17025 の試験所認定を取得！

ISO/IEC 17025 の認定について、既に取得している化学試験に加えて、放射能測定が平成24年9月4日付で追加認定されました。これにより、当社における放射能測定は、技術的に適格かつ、妥当な結果を出す能力があることが国際的に認められたこととなります。

お問合せはこちら